

12. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連  (沖縄)		ゴルフ場（経営者）	・経営方針として割引料金を一切廃止しているが、それでも集客は十分に計れるとみている。
		スーパー（企画担当）	・ポイント施策の取組による改善が見込まれる。
		コンビニ（経営者）	・観光客が増加しており、ファーストフードや弁当などの品ぞろえを増やし、売上を増やす。
		衣料品専門店（経営者）	・どんどん暖かくなってきており、沖縄らしい陽気に客の気分も変わるのではないかと。
		観光型ホテル（マーケティング担当）	・現在の予約状況から推測される今後2～3か月後の客室稼働率は、前年同月実績を若干上回る見込みである。
		旅行代理店（マネージャー）	・ゴールデンウィークの旅行相談が増えているので、少し期待する。
		その他のサービス〔レンタカー〕（営業）	・観光客の増加が見込まれていることを勘案し、景気は上向くとみられる。
		住宅販売会社（営業担当）	・前年同様、大型ショッピングセンターや分譲マンション、分譲住宅、ホテル建設が盛況で、職人の手配がより厳しく、建築単価を押し上げている。
		一般小売店〔靴・袋物〕（経営者）	・インバウンドの数は変わらないし、むしろ増えている感じもあるが、買物の方は逆に慎重になっているようで、以前より爆買いは減っている。やはり買物、土産よりも、コトに対する需要の方が大きくなっているかもしれない。
		百貨店（店舗企画）	・一部売場の改装による動員増は見込めるが、インバウンドの動向が今後どのように変化するのか、ネット販売への恐怖を感じている。
		コンビニ（代表者）	・県内の消費に対する意識は変わらず高い。それに加え観光客の増加もあり、高い水準で推移していくと判断する。
		衣料品専門店（経営者）	・今月は、冬物の処分と春物の入替えの月であるが、思いの外、寒さが続いたので冬物の処分が上手くできたところが多いようである。しかし、春物の定価品の売上が今一つ良くないところが気になる。景気はまだまだ予断を許さないとみられる。
		その他専門店〔書籍〕（店長）	・年度末の繁忙期に入っていくが、例年から大きく変わる見込みはない。
		観光型ホテル（代表取締役）	・前年よりも4～5月の動きはまだ鈍く、どうなるか分からない。
		住宅販売会社（代表取締役）	・今後、県内での大型建築現場などでの職人の取り合いによる、人件費高騰や職人不足が懸念される。
	その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	・観光は相変わらず好調であるが、飲食は一にも二にも人手不足であり、働き方改革を実践するための労働時間の短縮は、店休日という形で調整している。しかし、それに見合った売上を確保できていないので相当苦しい。	
	通信会社（店長）	・1年の中でも入学シーズンにピークを迎えるため4月以降は客足は遠のき冷え込む傾向にある。	
	×	商店街（代表者）	・悪くなる店が多く出てきている。独特な自助努力等があれば売上は増えるとみられるが、全体から見たら一部である。大多数の零細企業等はまだまだ伸び悩む一方で、現況では増える気配は余りみられない。零細企業の方は大変危惧している。
企業 動向 関連  (沖縄)		建設業（経営者）	・新築の仮契約及び申込件数が増えた。
		食料品製造業（総務）	・気候も暖かくなりゴールデンウィークを控え季節的な需要も増加し、全体的に動きが良くなっていく。
		窯業・土石製品製造業（経営者）	・次年度第1四半期は前年度末からの公共工事の影響でやや良くなる見通しである。
		輸送業（代表者）	・リゾート客の増加により、離島でのホテルや量販店の建設が前年から本格化しており、生コンの出荷は増大している。秋より本格化する陸上自衛隊駐屯地の建設へ向け、出荷量の多さは持続されるものと考えられる。ただし、アスファルトの出荷量は低迷している。
		×	広告代理店（営業担当）
雇用 関連		×	-
		×	-
		求人情報誌製作会社（営業担当）	・求人数が増える。

(沖縄)	求人情報誌製作会社 (編集室)	・3月は新卒求人開示の解禁月である。それにつられて中途募集も増加するものとみられる。
	学校[大学](就職担当)	・2019年4月採用の新卒求人情報の解禁を目前に控え、企業からは求人票や採用活動に関する情報量が増えている。引き続き積極採用が期待できるものと感じている。
	人材派遣会社(総務担当)	・人手不足なので、応募しても人が全く来ない企業から、賃金や就業条件面等、見直さなければいけないとの声がある。
		-
	x	-